

新年度予算案の審査から

3月定例会では新年度の予算について適正な審査が行われました。
委員会でのどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

一般会計予算

問 令和2年度の予算編成時には経済が安定していましたが、現在は経済の先行きが不透明な状況となっており、事業に対し、どのように対応していく考えですか。

答 個人市民税は大きな影響はないと考えていますが法人市民税は減収が見込まれます。この減収分は財政調整基金で手当てするなど、補正予算の提出等も視野に入れ必要な手立てを講じていきます。

半田病院経営統合

問 現在の常滑市民病院は医師不足や、夜間救急診療の休止など、経営状況の悪化が懸念されています。経営統合に対し不安を感じる市民もいると考えますが、どのように説明をしていきますか。

答 両市長と一緒に医局への派遣要望に行くなどし、医師の確保と経営の安定に努めていきます。また、経営統合により、急性期を半田病院回復期を常滑市民病院と安心して治療を受けられる体制を整うことで理解が得られると考えています。

問 経営状況の調査結果を受け、双方が合意に至らない場合は経営統合を取りやめる判断はありますか。またその決定時期はいつですか。

答 取りやめる判断はあり得ます。令和2年度中には答えを出す予定です。

ふるさと納税事業

問 入りが1千六百万円、出が2億1千万円の実績を踏まえ、今後、市としてどのような方向性ですか。

答 他市に税収を奪われるだけとなるよりは少しでも寄付を得て、その増額に努めていくべきだと考えています。

高齢者運転免許自主返納事業

問 返納者への記念品はバス利用券1万8千円、タクシー券は5千円ですが、市民への公平性をどのように考え設定しましたか。

答 バス利用の促進を図る目的もあり、自主返納者に対してもバスに重点を置くこととしました。

文教厚生委員会

生活困窮者自立支援事業

問 引きこもり対策としてアウトリーチ支援員を設置するが、目的はなにか。またどのような業務ですか。

答 配置目的は、引きこもりに関する様々な「困りごと」の解決です。具体的には、中学校を卒業する不登校生徒の情報共有し、切れ目のない支援を行っていきます。

子育て支援センター利用促進事業費

問 子育て支援センターの駐車料金の無料時間の拡大は、ふるさと納税を源資にするとのことだが、継続性は確保できるのか。

答 ふるさと納税制度で子育て支援のために毎年多くのご寄附をいただくようになり、基金残高の状況から、一定期間は事業の継続性が見込めるものと考えています。

市立保育園管理運営事業

問 保育園等の公民連携の方針はどのようですか。また、市民説明はどのように行っていますか。

答 市内保育園の民営化と認定こども園化を推進していきます。令和2年度から10年間で、個別施設計画を定め、適宜、地域住民や保護者に説明を行っていきます。

母子健康増進事業

問 こんにちは赤ちゃん訪問で、支援につながった事例は何件ですか。また、妊娠期からの切れ目のない支援の具体的な取組みは何ですか。

答 赤ちゃん訪問で何った97人のうち、12人が支援に繋がっています。妊娠期からの切れ目のない支援については、母子健康手帳交付時から見守りを続け、部署を越えた情報共有や連携を図っています。

半田運動公園改修事業

問 半田運動公園陸上競技場は、改修後も現在と同様に第3種陸上競技場の公認を目指すとのことですが、その理由は何か。

答 陸上競技大会の記録は、公認競技場でないと公式記録として認められません。知多地域における陸上競技の振興と競技会開催場所を確保するため、整備を行いたいとするものです。